

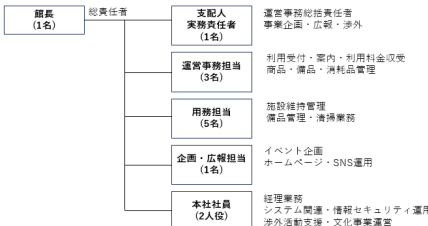
令和7年度指定管理者運営状況検証シート

1 施設名等

令和8年3月31日現在

施設名 (設置年月日)	萬翠荘 (大正11年)	所在地 電話 HP	愛媛県松山市一番町三丁目3番地7 089-921-3711 http://www.bansuisou.org/
県所管課	観光スポーツ文化局文化振興課	指定管理者の名称	株式会社ウイン
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)	利用料金制	○ あり なし

2 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	萬翠荘の公開 県民の文化の振興を図るため、各種の行事又は集会の用に供する	施設の外観
施設内容	展示室(9室)、駐車場(約20台)	
指定管理者が行う業務	①萬翠荘の事業の実施に関する業務 ②萬翠荘の利用の許可に関する業務 ③萬翠荘の利用に係る料金の収受に関する業務 ④萬翠荘の利用の促進に関する業務 ⑤萬翠荘の施設、附属設備及び備品の維持管理に関する業務 ⑥その他知事が定める業務	
施設の管理体制		

3 検証のための指標の推移

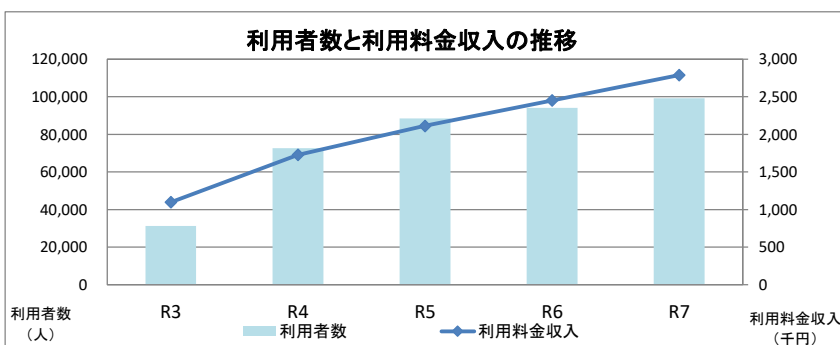
(1) 利用者数

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
年間利用者数	31,323 人	72,674 人	88,521 人	94,105 人	99,251 人

(2) 収支状況

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収 入 (A)	27,379 千円	51,691 千円	40,829 千円	49,568 千円	57,978 千円
委 託 料	16,696 千円	18,654 千円	20,348 千円	26,347 千円	26,251 千円
委託料(補正額)※	2,248 千円	14,911 千円	- 千円	491 千円	- 千円
利用料金収入	1,097 千円	1,728 千円	2,113 千円	2,451 千円	2,789 千円
その他収入	7,338 千円	16,398 千円	18,368 千円	20,279 千円	28,938 千円
支 出 (B)	27,379 千円	49,595 千円	39,536 千円	48,195 千円	56,439 千円
事 業 費	1,038 千円	13,066 千円	1,594 千円	1,816 千円	6,145 千円
維持管理費	3,105 千円	7,992 千円	3,697 千円	9,390 千円	5,467 千円
人 件 費	18,433 千円	20,900 千円	24,057 千円	27,929 千円	34,527 千円
その他支出	4,803 千円	7,637 千円	10,188 千円	9,060 千円	10,300 千円
収 入 (A) - 支 出 (B)	0 千円	2,096 千円	1,293 千円	1,373 千円	1,539 千円

(※)新型コロナウイルスの影響等により、補正予算で増額した委託料を記載



(※2) 収支状況に大きく影響を及ぼした要因があった場合、その内容

令和7年度は、萬翠荘の重要文化財としての価値を守りながら、貸館利用の促進、自主事業の充実、インバウンド対応、情報発信の強化に積極的に取り組んだ結果、年間利用者数は99,251人、収入全体は57,978千円となり、いずれも前年度を上回る成果となった。特に、利用料金収入は2,789千円となり、貸館・観覧利用の双方で着実な利用促進につながった。

貸館では、すべての貸館イベントについてSNSで事前・事後の情報発信を行い、萬翠荘での利用イメージを具体的に伝えることで、「重要文化財を個展、演奏会、撮影、各種イベント等に活用できる」という認知を広げた。これにより、新規利用者の獲得と既存利用者の継続利用につながった。

自主事業では、開館前・閉館後の時間帯を活用したコンサート、撮影会、朝ヨガ体験等を実施し、通常観覧とは異なる特別な体験価値を提供した。また、韓国語パンフレットの作成・配布、外国人ツアーの受入れ、英語・韓国語表記を含む松山城ロープウェイ広告の掲出など、増加するインバウンド客への対応も強化した。

さらに、Google Mapの口コミにおいても、建物の美しさ、館内の雰囲気、スタッフ対応等について高評価をいただっており、来館者の安心感や新たな来館動機形成につながっている。

これらの取組により、萬翠荘を「観覧する文化財」から「特別な体験ができる文化財」へと発信でき、利用者数の増加、収入向上、施設価値の向上につながった。

4 管理運営の評価

(1) 提供サービスや利便性の向上のための取組み

指定管理者の自己検証		県施設所管課の検証	
○令和7年度は、萬翠荘が持つ重要文化財としての歴史的価値を活かしながら、通常の観覧に加え、文化財という特別な空間でしか体験できないサービスの提供に取り組んだ。 ○特に、開館前や閉館後の時間帯を有効活用し、ジャズディナーイベント、婚活イベント、愛媛の地酒プロモーションイベント、由薫コンサート、森恵コンサート、プレミアムナイト撮影会、日食なつコンサート、朝ヨガ体験など、多様な自主事業・イベントを実施した。これにより、萬翠荘の朝や夜の魅力を発信するとともに、従来の観覧では得られない非日常感や特別感のある体験を提供することができた。 ○これらの取組は、観光客や従来の利用者に加え、若年層、音楽ファン、撮影利用者、地域イベント参加者など、新たな年齢層・関心層へのアプローチにつながった。重要文化財を会場としたコンサートや撮影会、体験型イベントは、萬翠荘の新たな活用可能性を示すものであり、利用者満足度の向上と施設の認知拡大に大きく寄与した。 ○また、貸館利用においては、利用者の希望を丁寧に聞き取り、会場設営、導線確認、当日の案内、文化財保護上の注意事項の説明等を柔軟に行った。重要文化財であるため一定の制約はあるものの、施設の保存と利用者の利便性を両立しながら、安心して利用できる環境づくりに努めた。 ○これらの取組を通じて、萬翠荘を観光施設としてだけでなく、文化・芸術・交流・体験の場として活用する幅を広げることができ、指定管理者の民間ノウハウを活かしたサービス向上と利用者層の拡大につながった。		S	評価

(2) 施設の適正な維持管理のための取組み

指定管理者の自己検証		県施設所管課の検証	
○築100年を超える重要文化財である萬翠荘を次の100年へ美しく引き継いでいくため、専門業者による定期点検と職員による日常的な清掃・確認を組み合わせ、保存と活用の両立を意識した維持管理に努めた。 ○館内では、日々の清掃や開館準備の際に、壁面、床、建具、展示室、照明設備等の状態確認を行い、小さな変化や劣化の兆候を早期に把握できるよう努めている。気付いた点については職員間で共有し、必要に応じて速やかに県へ報告・相談する体制を整えている。 ○庭園については、背後に城山を有する立地特性から、高木や古木の倒木、枝折れ、落葉による排水不良等が建物や来館者の安全に影響を及ぼさないよう、日常的な確認を行った。危険木や支障木の可能性がある場合には、来館者の安全確保を最優先に、速やかに県へ報告し、対応について協議した。 ○また、コンサート、撮影会、夜間イベント等の開催時には、文化財保護に十分配慮しながら、機材搬入、照明、来場者導線、安全管理等について事前確認を徹底した。建物への負荷を最小限に抑えつつ、利用者が安心してイベントを実施・参加できる環境づくりに努めた。 ○これらの取組により、重要文化財としての価値を守りながら、来館者が安心して快適に過ごせる施設環境を維持することができた。文化財の保存と積極的な活用を両立し、今後の萬翠荘の継続的な魅力向上につなげることができた。		A	評価

(3) 利用者からの評価と、意見を反映させるための取組み

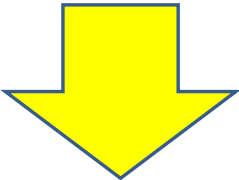
指定管理者の自己検証		県施設所管課の検証	
○利用者からの意見を施設運営に反映させるため、館内アンケート、Google Map等のインターネット上の口コミ、SNSのコメント等を継続的に確認し、利用者目線に立った改善に努めた。 ○館内には、職員の目が直接届きにくい場所にアンケートボックスを設置し、来館者が率直な意見を記入できる環境を整えている。アンケートは毎月末に回収し、内容の集計・分析を行ったうえで、改善が必要な意見については速やかな対応を心掛けている。 ○アンケート結果では、毎月「満足」「非常に満足」が90%以上と高い評価を維持しており、さらに「また来たい」「家族や友人にも紹介したい」といった前向きな回答も多く寄せられている。萬翠荘の歴史ある建物、館内の雰囲気、職員の丁寧な対応、イベント体験等が、来館者の満足度向上につながっているものと考えている。 ○また、Google Map等の口コミにおいても、建物の美しさや館内の雰囲気、スタッフ対応について高評価をいただいており、来館を検討している方への安心材料にもなっている。口コミについては毎日確認し、可能な限りコメントへの返信を行うことで、利用者の声が施設側に届いていることを伝え、来館後の満足感や施設への信頼感の向上につなげている。 ○さらに、「お風呂場が見たかった」といった利用者の声を受け、通常公開していない部分への関心を活かしたバックヤードツアーの企画も進めている。利用者の意見を単なる要望として受け止めるだけでなく、新たな体験価値の創出につなげる取組であり、萬翠荘の歴史や建築的魅力をより深く知っていただく機会になると考えている。 ○今後も、利用者からの評価や意見を丁寧に受け止め、施設改善や企画づくりに反映することで、「また訪れたい」「人に勧めたい」と感じていただける施設運営を目指す。		A	評価

(4) 施設関連情報の発信のための取組み

指定管理者の自己検証		県施設所管課の検証	
○令和7年度は、SNS、公式ホームページ、報道機関、観光拠点での広告等を組み合わせ、萬翠荘の魅力やイベント情報を幅広く発信し、施設の認知度向上と来館促進に取り組んだ。 ○InstagramやFacebookでは、季節の花や大きなイベントだけでなく、すべての貸館イベントについても事前投稿と事後投稿を行った。これにより、主催者への広報支援となるだけでなく、萬翠荘で日々どのようなイベントが開催されているのかを分かりやすく伝えることができた。実際の利用風景を継続的に発信することで、新たな貸館利用者や萬翠荘ファンの獲得につながっている。Instagramのフォロワー数は令和8年3月31日現在で3,860人となり、継続的な情報発信の成果が表れている。 ○また、課題であった公式ホームページについても一新し、利用者が必要な情報を探しやすい構成へ改善した。イベント情報、観覧案内、貸館情報等を分かりやすく整理するとともに、魅力的な写真を多く掲載することで、初めて萬翠荘を知る方にも来館意欲を高めてもらえる発信基盤を整えることができた。 ○ホテル観賞会など、地域性や季節性の高い催事については、独自のSNS発信に加え、プレスリリースを行い、新聞社・テレビ局等による取材・報道につなげた。報道による周知効果は大きく、県民に対する萬翠荘の認知向上と来館促進に寄与した。 ○さらに、松山城ロープウェイの Gondola 内に広告を掲出し、松山城を訪れる観光客への周知強化にも取り組んだ。松山城周辺で増加しているインバウンド客にも萬翠荘の存在やアクセスを分かりやすく伝えるため、地図表記は日本語に加え、英語・韓国語にも対応した。あわせて、韓国語パンフレットの作成・配布や外国人ツアーの受入れも行き、海外からの観光客にも訪れやすい情報発信と受入体制の強化を図った。 ○これらの取組により、オンライン・オフラインの両面から萬翠荘の情報発信力を高め、県民、観光客、貸館利用者、若年層、インバウンド客など、多様な層への認知拡大と来館促進につながることができた。		萬翠荘をリアルタイムに発信するツールとして、InstagramやX等のSNSを積極的に活用し、全ての貸館イベントについて発信したほか、ロープウェイの Gondola 内の広告や韓国語パンフレットの作成など、増加するインバウンド観光客への対応も強化し、貸館利用者及び観光客の両方に対して分かりやすい萬翠荘の案内や周知に積極的に取り組んだ。 その他ホームページの更新、プレスリリースでのイベント発信など、様々な取組により情報発信力を高め、来館者の満足度や来館促進に貢献できた点は評価できる。	
		評	価

【評価基準】

- S・・・仕様書等で示した基準以上の顕著な成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が特に認められるもの
- A・・・仕様書等で示した基準以上の成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が認められるもの
- B・・・仕様書等で示した基準と同程度の成果が挙げられているもの
- C・・・仕様書等で示した基準をおおむね満たしているが、一部工夫や改善を期待するもの



(5) 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

県施設所管課の総括
開館前・開館後のイベントやフотスポットとしての活用など、指定管理者としての自主企画を積極的に行っており、そのノウハウを生かした様々な活用により、萬翠荘の魅力や認知度の向上につながっていることは、指定管理者導入の効果があると評価できる。 一方で、利用人数については、コロナ前と比較して徐々に回復してはいるものの、令和5年から伸び率が一定となっており、まだまだ若年層の利用者獲得に向けた取り組みも期待できることから、引き続き利用者が使いやすい予約方法の検討や、積極的な自主企画の実施・情報発信に取り組んでほしい。